

耐震診断報告書（木造建築物）

H19*****

一般診断 方法 1

平成 年 月 日

(申込者)
住所
##申請者住所
氏名
##申請者

耐震診断員
氏名

印

耐震診断の依頼を受けた建物について診断した結果、下記のとおりですのでご報告致します。
なお、この報告書は調査時点での診断状況であり、その後の経年劣化等に対しては十分な
維持管理をお願いします。

建物名称	申請建物
所在地	##建物住所住所

【上部構造】

階	床面積(m ²)	方向	上部構造評点	判定
3階		X		
		Y		
2階	39.74	X	1.25	一応倒壊しない
		Y	0.72	倒壊する可能性がある
1階	53.41	X	0.77	倒壊する可能性がある
		Y	0.57	倒壊する可能性が高い
合計	93.15	上部構造評点		0.57

耐震判定表

総合評点		判定	今後の対策
	1.5以上	安全です	定期的なメンテナンスが理想です
	1.0以上1.5未満	一応倒壊しない	より安全にするため補強が望ましいです
	0.7以上1.0未満	倒壊する可能性がある	耐震補強が必要です
■	0.7未満	倒壊する可能性が高い	早急に耐震補強が必要です

総合的所見

総合所見記入欄

調査年月日	2006/10/02
診断員氏名	

【建築物概要】

①建物名称	申請建物
②所在地	## 建物住所住所
③竣工年	平成 1 年
④建築物仕様	軽い建物：（屋根：桟瓦葺等 壁：ラスモルタル外壁 + ボード内壁）
⑤地域係数 Z	1.0
⑥軟弱地盤割増	1.0
⑦形状割増係数	1階＝1.00
⑧積雪深さ	無し（1m未満）
⑨基礎形状	基礎Ⅱ：ひび割れの有る鉄筋コンクリート布基礎又はべた基礎、 無筋コンクリート布基礎、柱脚に足固めをした玉石基礎
⑩床仕様	床Ⅱ：火打ち＋荒板 床倍率0.63
⑪主要な柱の径	140mm未満
⑫基本接合部	金物Ⅳ：ほぞ差し、釘打ち、かすがい等

総合評価（診断結果）

【地盤】

地盤	対 策	記入欄	注意事項
良い		○	地盤所見記入欄
普通			
悪い	表層の地盤改良を行っている		
(埋立地、盛り土 軟弱地盤)	杭基礎である 特別な対策を行っていない		

【地形】

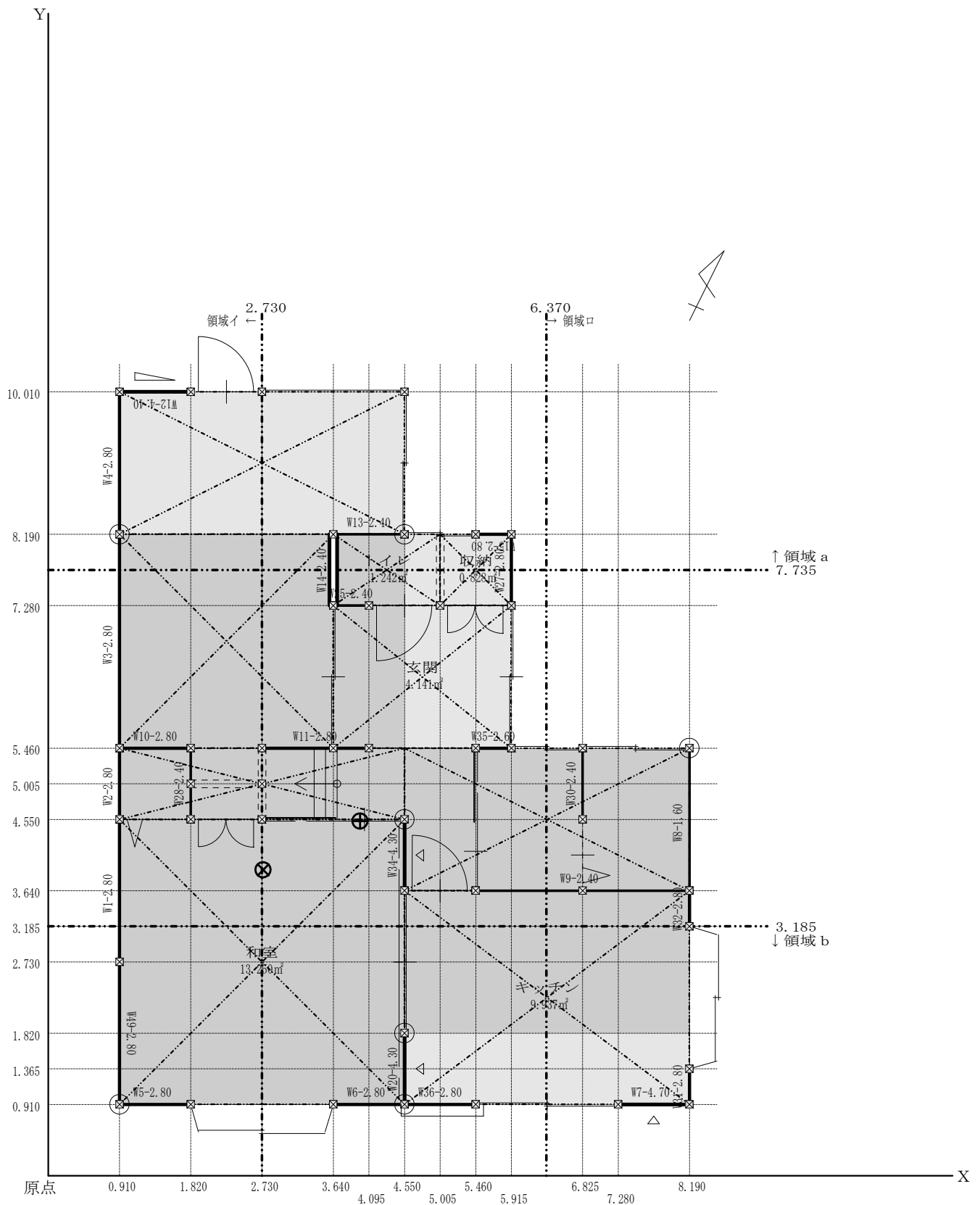
地形	対 策	記入欄	注意事項
平坦・普通		○	地形所見記入欄
崖地・ 急傾斜面	コンクリート擁壁		
	石積み		
	特別な対策を行っていない		

【基礎】

基礎形状	対 策	記入欄	注意事項
鉄筋コンク リート基礎	健全		基礎形式所見記入欄
	ひび割れが生じている	○	
無筋コンク リート基礎	健全		
	ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固め有り		
	足固めなし		
その他 (ブロック基礎等)			

耐力壁リスト

壁強さ倍率	内 容	壁 番 号
4.70	1.90 10 /筋違 (木材30×90以上) 接合金物なし	1-W07 2-W02 2-W06 2-W09 2-W10 2-W11 2-W12 2-W13 2-W20
	1.60 37 モルタル塗り壁 (きずり下地)	
	1.20 40 石膏ボード張り (直張り)	
	0.00 無し	
4.40	1.60 37 モルタル塗り壁 (きずり下地)	1-W12
	1.60 7 /筋違 (木材15×90以上) 接合金物有り	
	1.20 40 石膏ボード張り (直張り)	
	0.00 無し	
4.30	1.90 10 /筋違 (木材30×90以上) 接合金物なし	1-W20 1-W34
	1.20 40 石膏ボード張り (直張り)	
	1.20 40 石膏ボード張り (直張り)	
	0.00 無し	
3.80	3.80 10W X筋違 (木材30×90以上) 接合金物なし	2-W04
	0.00 無し	
	0.00 無し	
	0.00 無し	
2.80	1.40 43 化粧合板(厚5.5: 胴縁仕様大壁)	1-W10 1-W11
	1.40 43 化粧合板(厚5.5: 胴縁仕様大壁)	
	0.00 無し	
	0.00 無し	
2.80	1.60 37 モルタル塗り壁 (きずり下地)	1-W01 1-W02 1-W03 1-W04 1-W05 1-W06 1-W15 1-W27 1-W31 1-W32 1-W36 1-W49 2-W03 2-W16 2-W17 2-W19
	1.20 40 石膏ボード張り (直張り)	
	0.00 無し	
	0.00 無し	
2.60	1.40 43 化粧合板(厚5.5: 胴縁仕様大壁)	1-W35
	1.20 41 石膏ボード張り (胴縁仕様)	
	0.00 無し	
	0.00 無し	
2.40	1.20 40 石膏ボード張り (直張り)	1-W09 1-W13 1-W14 1-W25 1-W28 2-W05 2-W07 2-W08 2-W14 2-W15
	1.20 40 石膏ボード張り (直張り)	
	0.00 無し	
	0.00 無し	
2.40	2.40 9 /筋違 (木材30×90以上) 接合金物有り	2-W01
	0.00 無し	
	0.00 無し	
	0.00 無し	
2.40	1.20 41 石膏ボード張り (胴縁仕様)	1-W30
	1.20 40 石膏ボード張り (直張り)	
	0.00 無し	
	0.00 無し	
1.60	1.60 37 モルタル塗り壁 (きずり下地)	1-W08
	0.00 無し	
	0.00 無し	
	0.00 無し	



縮尺 1/70

⊕ 重心座標 (3.986, 4.532)

⊗ 剛心座標 (2.745, 3.912)

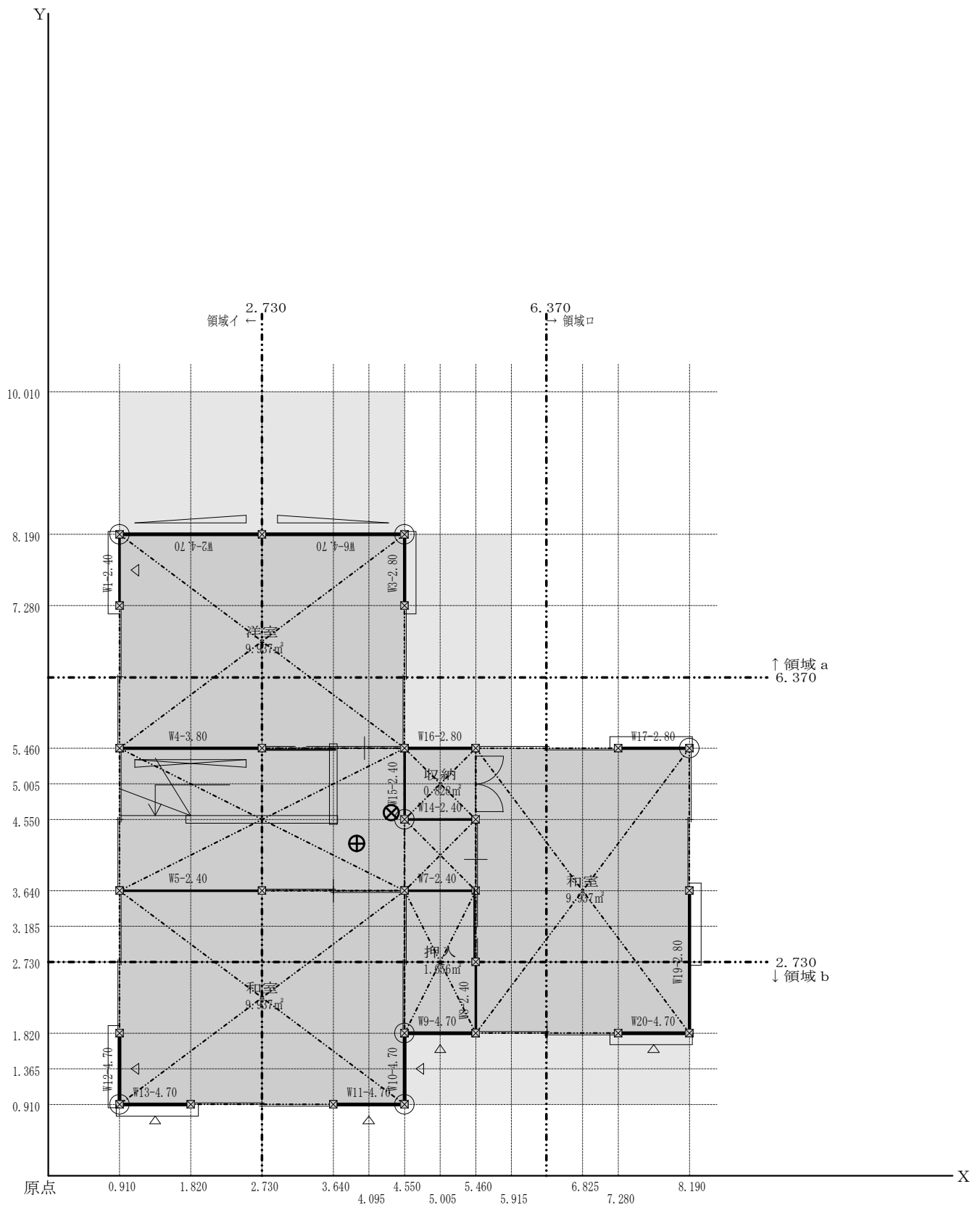
1 階 床面積 53.41 (㎡)

一般診断： 建物仕様 軽い建物：基礎Ⅱ 床Ⅱ 金物Ⅳ

階 方向 P(kN) 配置 E(偏心率) 劣化 D 保有耐 必要耐 評点 上部構造評点 0.57

1階 X 30.16 × 1.00 (0.15) × 0.83 = 25.03 / 32.58 = 0.77

Y 44.36 × 0.50 (0.39) × 0.83 = 18.41 / 32.58 = 0.57



縮尺 1/70

⊕ 重心座標 (3.944, 4.248)

⊗ 剛心座標 (4.383, 4.635)

2 階 床面積 39.74 (㎡)

一般診断： 建物仕様 軽い建物：基礎Ⅱ 床Ⅱ 金物Ⅳ

階 方向 P(kN) 配置 E(偏心率) 劣化 D 保有耐 必要耐 評点 上部構造評点 0.57

2階 X 22.65 × 1.00 (0.13) × 0.83 = 18.80 / 15.10 = 1.25

Y 13.18 × 1.00 (0.10) × 0.83 = 10.94 / 15.10 = 0.72

必要耐力の算出(精算法)

	床面積 (㎡)		床面積当たり 必要耐力 (kN/㎡)		積雪用 必要耐力 (kN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		必要耐力 Qr (kN)
3階													
2階	39.74	×	0.38	+	0.00	)	1.00	×	1.00	×	1.00	=	15.10
1階	53.41		0.61		0.00		1.00		1.00		1.00		32.58

耐震要素の配置低減係数用必要耐力

梁間イ (X方向1/4)

	床面積 (㎡)		床面積当たり 必要耐力 (kN/㎡)		積雪用 必要耐力 (kN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		必要耐力 Qr (kN)
3階													
2階	13.25	×	0.38	+	0.00	)	1.00	×	1.00	×	1.00	=	5.04
1階	16.56		0.61		0.00		1.00		1.00		1.00		10.10

梁間ロ (X方向1/4)

	床面積 (㎡)		床面積当たり 必要耐力 (kN/㎡)		積雪用 必要耐力 (kN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		必要耐力 Qr (kN)
3階													
2階	6.62	×	0.38	+	0.00	)	1.00	×	1.00	×	1.00	=	2.52
1階	8.28		0.61		0.00		1.00		1.00		1.00		5.05

桁行 a (Y方向1/4)

	床面積 (㎡)		床面積当たり 必要耐力 (kN/㎡)		積雪用 必要耐力 (kN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		必要耐力 Qr (kN)
3階													
2階	6.62	×	0.38	+	0.00	)	1.00	×	1.00	×	1.00	=	2.52
1階	8.90		0.61		0.00		1.00		1.00		1.00		5.43

桁行 b (Y方向1/4)

	床面積 (㎡)		床面積当たり 必要耐力 (kN/㎡)		積雪用 必要耐力 (kN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		必要耐力 Qr (kN)
3階													
2階	9.94	×	0.38	+	0.00	)	1.00	×	1.00	×	1.00	=	3.78
1階	16.56		0.61		0.00		1.00		1.00		1.00		10.10

精算法による必要耐力の算定時の各種定数の計算

建物仕様 = 軽い建物 : 石綿スレート、ラスモルタル、ボード壁

1階床面積 53.41 m²2階床面積 39.74 m²3階床面積 0.00 m²

Rf1 = 0.744 39.740 ÷ 53.410 = 0.744

Rf2 = 0.100 0.000 ÷ 39.740 = 0.000

※Rf1 1階の床面積に対する2階の床面積の割合。ただし0.1を下回る場合は0.1とする

※Rf2 2階の床面積に対する3階の床面積の割合。ただし0.1を下回る場合は0.1とする

※小数点以下第3位を四捨五入します

K1 = 0.4+0.6×Rf1 = 0.85

K2 = 1.19+0.11/Rf1 = 1.34

K3 = (0.25+0.75×Rf1) × (0.65+0.35×Rf2) = 0.55

K4 = 0.40+0.60×Rf2 = 0.46

K5 = 1.03+0.10/Rf1+0.08/Rf2 = 1.96

K6 = 1.23+0.10/Rf1+0.23/Rf2 = 3.66

床面積当たりの必要耐力(Kn/m²)

平屋 0.28 = 0.28

2階建て2階 0.28×K2 = 0.38

2階建て1階 0.72×K1 = 0.61

3階建て3階 0.28×K6 = 1.02

3階建て2階 0.72×K4×K5 = 0.65

3階建て1階 1.16×K3 = 0.64

1階耐力壁

No.	座標		領域	壁強さ 倍率 ($C \times$ (kN/m)	壁長		付加 耐力 +pw (kN)	接合部 耐力低減) $\times f$ =	(Pwix (kN)	(Pwiy (kN)	基 礎 II	金 物 IV	最 上 階	コメント
	dX	dY			(lx (m)	ly (m)								
W01	0.910	3.640	イ	2.80		1.820		0.800		4.077				
W02	0.910	5.005	イ	2.80		0.910		0.800		2.038				
W03	0.910	6.825	イ	2.80		2.730		0.800		6.115				
W04	0.910	9.100	イ	2.80		1.820		0.800		4.077				
W05	1.365	0.910	b	2.80	0.910			0.800	2.038					
W06	4.095	0.910	b	2.80	0.910			0.800	2.038					
W07	7.735	0.910	b	4.70	0.910			0.250	1.069			○		
W08	8.190	4.550	口	1.60		1.820		1.000		2.912				
W09	6.825	3.640	中間	2.40	2.730			1.000	6.552					
W10	1.365	5.460	中間	2.80	0.910			0.800	2.038					
W11	3.412	5.460	中間	2.80	1.365			0.800	3.058					
W12	1.365	10.010	a	4.40	0.910			0.250	1.001			○		
W13	4.095	8.190	a	2.40	0.910			1.000	2.184					
W14	3.640	7.735	中間	2.40		0.910		1.000		2.184	I	II		
W20	4.550	1.365	中間	4.30		0.910		0.700		2.739				
W27	5.915	7.735	中間	2.80		0.910		0.350		0.892		○		
W28	1.820	5.005	イ	2.40		0.910		1.000		2.184				
W30	6.825	5.005	口	2.40		0.910		1.000		2.184				
W34	4.550	4.095	中間	4.30		0.910		0.700		2.739				
W36	5.005	0.910	b	2.80	0.910			0.800	2.038					
W49	0.910	1.820	イ	2.80		1.820		0.800		4.077				
									Σ	22.016	36.218			

	Σ Pwxi	Pe=0.25Qr	P=Pw+Pe		Σ Pwyi	Pe=0.25Qr	P=Pw+Pe
a11	22.016	8.145	30.16	a11	36.218	8.145	44.36
a	3.185	1.357	4.54	イ	22.568	2.525	25.09
中間	11.648			中間	8.554		
b	7.183	2.525	9.71	口	5.096	1.262	6.36

2階耐力壁

No.	座標		領域	壁強さ 倍率 ($C \times$ (kN/m)	壁長		付加 耐力 +pw (kN)	接合部 耐力低減) $\times f$ =	(Pwix (kN)	(Pwiy (kN)	金最 物上 IV階	コメント
	dX	dY			(lx (m)	ly (m)						
W01	0.910	7.735	イ	2.40		0.910		0.700		1.529		○
W02	1.820	8.190	a	4.70	1.820			0.250	2.139			○
W03	4.550	7.735	中間	2.80		0.910		0.350		0.892		○
W04	1.820	5.460	中間	3.80	1.820			0.350	2.421			○
W05	1.820	3.640	中間	2.40	1.820			0.700	3.058			○
W06	3.640	8.190	a	4.70	1.820			0.250	2.139			○
W07	5.005	3.640	中間	2.40	0.910			0.700	1.529			○
W08	5.460	2.275	中間	2.40		0.910		0.700		1.529		○
W09	5.005	1.820	b	4.70	0.910			0.250	1.069			○
W10	4.550	1.365	中間	4.70		0.910		0.250		1.069		○
W11	4.095	0.910	b	4.70	0.910			0.250	1.069			○
W12	0.910	1.365	イ	4.70		0.910		0.250		1.069		○
W13	1.365	0.910	b	4.70	0.910			0.250	1.069			○
W14	5.005	4.550	中間	2.40	0.910			0.700	1.529			○
W15	4.550	5.005	中間	2.40		0.910		0.700		1.529		○
W16	5.005	5.460	中間	2.80	0.910			0.350	0.892			○
W17	7.735	5.460	中間	2.80	0.910			0.350	0.892			○
W19	8.190	2.730	口	2.80		1.820		0.350		1.784		○
W20	7.735	1.820	b	4.70	0.910			0.250	1.069			○
Σ									18.875	9.401		

	Σ Pwxi	Pe=0.25Qr	P=Pw+Pe		Σ Pwyi	Pe=0.25Qr	P=Pw+Pe
all	18.875	3.775	22.65	all	9.401	3.775	13.18
a	4.278	0.630	4.91	イ	2.598	1.260	3.86
中間	10.321			中間	5.019		
b	4.276	0.945	5.22	口	1.784	0.630	2.41

重心の計算

1階

No.	Ai1 全体 (m ²)	領域内部分 (m ²)				Yi1 (m)	Ai1・Yi1 (m ³)	Xi1 (m)	Ai1・Xi1 (m ³)
		a	b	イ	ロ				
A01	13.250		8.281	6.625		2.730	36.171	2.730	36.171
A02	1.242	0.621				7.735	9.608	4.322	5.369
A03	9.937		8.281		4.969	2.275	22.607	6.370	63.300
A04	6.625				3.312	4.550	30.143	6.370	42.200
A05	3.312			1.656		5.005	16.579	2.730	9.043
A06	7.453	1.242		4.969		6.825	50.866	2.275	16.955
A07	0.828	0.414				7.735	6.405	5.460	4.521
A08	6.625	6.625		3.312		9.100	60.286	2.730	18.086
A09	4.141					6.370	26.375	4.777	19.781
Σ	53.410	8.902	16.562	16.562	8.281		259.040		215.426

2階

No.	Ai2 全体 (m ²)	領域内部分 (m ²)				Yi2 (m)	Ai2・Yi2 (m ³)	Xi2 (m)	Ai2・Xi2 (m ³)
		a	b	イ	ロ				
A01	9.937	6.625		4.969		6.825	67.821	2.730	27.129
A02	9.937		6.625	4.969		2.275	22.607	2.730	27.129
A03	6.625			3.312		4.550	30.143	2.730	18.086
A04	9.937		2.484		6.625	3.640	36.171	6.825	67.821
A05	1.656		0.828			2.730	4.521	5.005	8.289
A06	0.828					4.095	3.391	5.005	4.145
A07	0.828					5.005	4.145	5.005	4.145
Σ	39.740	6.625	9.937	13.250	6.625		168.799		156.744

2 階建て 軽い建物：石綿スレート、ラスモルタル、ボード壁

$$X_{g1} = \frac{1.4(\sum Ai1 \cdot Xi1) + 2.1(\sum Ai2 \cdot Xi2)}{1.4\sum Ai1 + 2.1\sum Ai2} = 3.986(m)$$

$$Y_{g1} = \frac{1.4(\sum Ai1 \cdot Yi1) + 2.1(\sum Ai2 \cdot Yi2)}{1.4\sum Ai1 + 2.1\sum Ai2} = 4.532(m)$$

$$X_{g2} = \frac{1.4(\sum Ai2 \cdot Xi2)}{1.4\sum Ai2} = 3.944(m)$$

$$Y_{g2} = \frac{1.4(\sum Ai2 \cdot Yi2)}{1.4\sum Ai2} = 4.248(m)$$

1階 剛芯の計算(壁強さ倍率から計算)

No.	Y_i dy	$Pwix$ Lx	$Lx \cdot dy$	$dy-ys$	$Lx(dy-ys)^2$	X_i dx	$Pwiy$ Ly	$Ly \cdot dx$	$dx-xs$	$Ly(dx-xs)^2$
W01						0.910	4.077	3.710	-1.835	13.728
W02						0.910	2.038	1.855	-1.835	6.862
W03						0.910	6.115	5.565	-1.835	20.591
W04						0.910	4.077	3.710	-1.835	13.728
W05	0.910	2.038	1.855	-3.002	18.366					
W06	0.910	2.038	1.855	-3.002	18.366					
W07	0.910	1.069	0.973	-3.002	9.634					
W08						8.190	2.912	23.849	5.445	86.335
W09	3.640	6.552	23.849	-0.272	0.485					
W10	5.460	2.038	11.127	1.548	4.884					
W11	5.460	3.058	16.697	1.548	7.328					
W12	10.010	1.001	10.020	6.098	37.223					
W13	8.190	2.184	17.887	4.278	39.970					
W14						3.640	2.184	7.950	0.895	1.749
W20						4.550	2.739	12.462	1.805	8.924
W27						5.915	0.892	5.276	3.170	8.964
W28						1.820	2.184	3.975	-0.925	1.869
W30						6.825	2.184	14.906	4.080	36.356
W34						4.550	2.739	12.462	1.805	8.924
W36	0.910	2.038	1.855	-3.002	18.366					
W49						0.910	4.077	3.710	-1.835	13.728
Σ		22.016	86.118		154.622		36.218	99.430		221.758

$$\text{剛芯 } Y_{s1} = \Sigma (Lx \cdot dy) / \Sigma Lx = 3.912 \quad X_{s1} = \Sigma (Ly \cdot dx) / \Sigma Ly = 2.745$$

$$\begin{aligned} ex1 &= |X_{s1} - X_{g1}| = 1.241 & re.x1 &= \sqrt{(\Sigma Lx(y-ys)^2 + \Sigma Ly(X-Xs)^2) / \Sigma Lx} = 4.135 \\ ey1 &= |Y_{s1} - Y_{g1}| = 0.620 & re.y1 &= \sqrt{(\Sigma Lx(y-ys)^2 + \Sigma Ly(X-Xs)^2) / \Sigma Ly} = 3.224 \end{aligned}$$

1階偏心率

$$Re.x1 = ey1 / re.x1 = 0.150$$

$$Re.y1 = ex1 / re.y1 = 0.385$$

2階 剛芯の計算(壁強さ倍率から計算)

No.	Y_i d_y	P_{wix} L_x	$L_x \cdot d_y$	$d_y - y_s$	$L_x (d_y - y_s)^2$	X_i d_x	P_{wiy} L_y	$L_y \cdot d_x$	$d_x - x_s$	$L_y (d_x - x_s)^2$
W01						0.910	1.529	1.391	-3.473	18.442
W02	8.190	2.139	17.518	3.555	27.033					
W03						4.550	0.892	4.059	0.167	0.025
W04	5.460	2.421	13.219	0.825	1.648					
W05	3.640	3.058	11.131	-0.995	3.027					
W06	8.190	2.139	17.518	3.555	27.033					
W07	3.640	1.529	5.566	-0.995	1.514					
W08						5.460	1.529	8.348	1.077	1.774
W09	1.820	1.069	1.946	-2.815	8.471					
W10						4.550	1.069	4.864	0.167	0.030
W11	0.910	1.069	0.973	-3.725	14.833					
W12						0.910	1.069	0.973	-3.473	12.894
W13	0.910	1.069	0.973	-3.725	14.833					
W14	4.550	1.529	6.957	-0.085	0.011					
W15						4.550	1.529	6.957	0.167	0.043
W16	5.460	0.892	4.870	0.825	0.607					
W17	5.460	0.892	4.870	0.825	0.607					
W19						8.190	1.784	14.611	3.807	25.856
W20	1.820	1.069	1.946	-2.815	8.471					
Σ		18.875	87.487		108.088		9.401	41.203		59.064

$$\text{剛芯 } Y_{s2} = \Sigma (L_x \cdot d_y) / \Sigma L_x = 4.635 \quad X_{s2} = \Sigma (L_y \cdot d_x) / \Sigma L_y = 4.383$$

$$\begin{aligned} ex2 = |X_{s2} - X_{g2}| &= 0.439 & re.x2 &= \sqrt{(\Sigma L_x (y - y_s)^2 + \Sigma L_y (X - X_s)^2) / \Sigma L_x} = 2.976 \\ ey2 = |Y_{s2} - Y_{g2}| &= 0.387 & re.y2 &= \sqrt{(\Sigma L_x (y - y_s)^2 + \Sigma L_y (X - X_s)^2) / \Sigma L_y} = 4.217 \end{aligned}$$

2階偏心率

$$Re.x2 = ey2 / re.x2 = 0.130$$

$$Re.y2 = ex2 / re.y2 = 0.104$$

劣化度による低減係数Dの算出

【築10年以上】

部 位		材 料、 部 品 等	劣 化 事 象	存在 点数	劣化 点数
屋根 葺き材		金属板	変退色、さび、割れ、ずれ、めくれがある	2	
		瓦・スレート	割れ、ずれ、欠落がある		
樋		樋・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある		
		縦 樋	割変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある		
外壁 仕上げ		木製板、合板	水しみ痕、コケ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	
		窯業系サイディング	コケ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある		
		金属系サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、 目地空き、シール切れがある		
		モルタル	コケ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある		
露出した躯体			水しみ痕、コケ、腐朽、蟻道、蟻害がある		
バル コ ニ ー	手 すり 壁	木製板、合板	水しみ痕、コケ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある		
		窯業系サイディング	コケ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある		
		金属系サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、 目地空、シール切れがある		
		外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、 シール切れ・剥離がある		
	床排水		壁面を伝って流れている、 または排水の仕組みがない		
内室	一般室	内壁、窓下	水しみ痕、はがれ、亀裂、カビがある	2	2
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある		
		タイル以外	水しみ痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある		
床	床面	一般室	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	
		廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある		
	床下		基礎の亀裂や床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	

合計 12 2

劣化度による低減係数 $D = 1 - (\text{劣化点数} / \text{存在点数}) = 0.83$

※計算結果が0.7未満のときは0.7を使用する

劣化点数D = 0.83

耐力要素の配置などによる低減係数の算出

【床仕様】 床Ⅱ：火打ち＋荒板 床倍率0.63

			4分割法による配置低減係数E				偏心率による低減係数E	
			領域の必要耐力 Q _r (kN)	領域の保有する 強さ P (kN)	充足率 P/Q _r	耐力要素の配置 などによる 低減係数E	偏心率 Re	偏心率による 低減係数E
3階	X	a						
		b						
	Y	イ						
		ロ						
2階	X	a	2.52	4.91	1.95	1.00	0.130	1.00
		b	3.78	5.22	1.38			
	Y	イ	5.04	3.86	0.77	1.00	0.104	1.00
		ロ	2.52	2.41	0.96			
1階	X	a	5.43	4.54	0.84	1.00	0.150	1.00
		b	10.10	9.71	0.96			
	Y	イ	10.10	25.09	2.48	1.00	0.385	0.50
		ロ	5.05	6.36	1.26			

上部構造評点の計算

配置低減の求め方：偏心率による低減係数

階	方向	強 さ P (k N)	配 置 E	劣 化 度 D	保有する耐力 P d (k N)	必要耐力 Q r (k N)	上部構造評点 Pd/Qr
3階	X			0.83			
	Y						
2階	X	22.65	1.00		18.80	15.10	1.25
	Y	13.18	1.00		10.94		0.72
1階	X	30.16	1.00		25.03	32.58	0.77
	Y	44.36	0.50		18.41		0.57
						最 小 値	0.57

上部構造評点	判 定
1.5以上	安全です
1.0以上～1.5未満	一応倒壊しない
0.7以上～1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い